

会社名	株式会社旅籠屋	上場取引所等	GR
コード番号	4807	本社所在都道府県	東京都
代表者	代表取締役社長 甲斐 真		
問い合わせ先	責任者役職名 代表取締役社長 甲斐 真	TEL (03) 3847-8858	

1. 平成 19 年 6 月期 第 2 四半期の業績（平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。
 3. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年第 2 四半期	218	(37.4)	35	(107.2)	34	(123.6)
18 年第 2 四半期	159	(10.0)	17	(△12.8)	15	(△8.6)

	当期純利益		1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
19 年第 2 四半期	33	(138.2)	5,366 24	4,730 01	12.3	8.5	16.0
18 年第 2 四半期	14	(△15.2)	2,503 09	2,200 78	8.7	3.8	9.8

- (注) 1. 期中平均株式数 18 年 12 月期 6,245 株 17 年 12 月期 5,620 株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
19 年第 2 四半期	420		289		69.2	46,311	86	
18 年第 2 四半期	396		168		42.4	29,968	91	

- (注) 期末発行済株式数 18 年 12 月期 6,245 株 17 年 12 月期 5,620 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期 末 残 高	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
19 年第 2 四半期	45		△15		△22		61	
18 年第 2 四半期	24		57		△37		61	

2. 平成 19 年 6 月期の業績予想（平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金(円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	年 間
通 期	385	15	10	—	—	—	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 1,601 円 28 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上

第 13 期

第 2 四半期報告書

(平成 18 年 10 月 1 日から平成 18 年 12 月 31 日まで)



平成 19 年 1 月 26 日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位: 千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第2四半期 H17.10.1~ H17.12.31	第3四半期 H18.1.1~ H18.3.31	第4四半期 H18.4.1~ H18.6.30	第1四半期 H18.7.1~ H18.9.30	第2四半期 H18.10.1~ H18.12.31	累計 H18.7.1~ H18.12.31		累計 H17.7.1~ H17.12.31
I 営業収益	売上高	61,412	65,802	89,666	128,694	89,875	218,570	+37.4%	159,062
II 営業費用	売上原価	57,654	62,548	75,496	77,879	77,508	155,388	+33.1%	116,736
	(注1) 販売費及び一般管理費	12,940	13,514	13,330	12,705	14,563	27,268	+9.1%	24,991
	営業利益または営業損失(▲)	▲9,181	▲10,260	839	38,109	▲2,195	35,914	+107.2%	17,334
III 営業外収益		32	33	41	57	28	85	▲40.6%	143
IV 営業外費用		934	714	817	518	506	1,025	▲44.3%	1,839
	経常利益または経常損失(▲)	▲10,084	▲10,941	62	37,648	▲2,674	34,973	+123.6%	15,638
V 特別利益		-	-	-	-	-	-	-	-
VI 特別損失		-	-	-	-	-	-	-	210
	税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲10,084	▲10,941	62	37,648	▲2,674	34,973	+123.6%	15,428
	法人税、住民税	680	680	876	730	730	1,461	+7.3%	1,361
	四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲10,764	▲11,622	▲813	36,917	▲3,405	33,512	+138.2%	14,067
	前四半期(前期)繰越損失(▲)	▲121,009	▲131,774	-	-	-	-	(-)	▲145,842
	四半期(当期)未処理損失(▲)	▲131,774	▲143,397	-	-	-	-	(-)	▲131,774
	期中平均株式数	5,620 株	5,620 株	6,203 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	+11.1%	5,620 株
	1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲1,915 円	▲2,068 円	▲131 円	5,911 円	▲545 円	5,366 円	+2,863 円	2,503 円
	(注2)潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	-	-	-	5,191 円	-	4,730 円	+2,529 円	2,201 円

(注1) 開業前の店舗の損益を含みます。

(注2) 最終損益が損失となる期間については記載を省略しております。

(2) 部門別内訳 (単位: 千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

本社(注1)	売上高	1,698	350	8,157	2,981	2,634	5,615	▲19.2%	6,946
	経常損益	▲11,880	▲13,593	▲5,697	▲9,949	▲12,195	▲22,144	▲14.9%	▲19,277
日光鬼怒川店	売上高	8,340	8,176	6,996	13,730	8,392	22,122	▲2.6%	22,707
	経常損益	1,067	1,073	90	5,562	708	6,271	▲8.3%	6,840
	客室稼働率	53.5%	56.9%	44.2%	60.8%	52.2%	56.5%	▲1.2p	57.7%
那須店	売上高	6,535	5,490	6,217	11,209	5,437	16,647	▲5.7%	17,647
	経常損益	1,094	573	895	5,168	100	5,268	▲17.1%	6,352
	客室稼働率	66.2%	46.9%	57.3%	79.8%	55.3%	67.5%	▲4.8p	72.3%
秋田六郷店	売上高	2,978	2,166	4,608	6,160	3,307	9,467	+6.5%	8,888
	経常損益	▲1,333	▲2,033	▲320	1,301	1,399	▲97	-	▲7
	客室稼働率	41.7%	30.0%	58.5%	62.5%	45.8%	54.2%	+5.1p	49.1%
山中湖店	売上高	8,374	7,954	8,396	13,875	8,494	22,369	▲1.3%	22,664
	経常損益	1,605	1,546	1,985	6,091	1,830	7,922	▲3.5%	8,213
	客室稼働率	72.4%	64.3%	76.8%	86.4%	70.8%	78.6%	▲1.2p	79.8%
沼田店	売上高	6,947	7,684	6,243	8,063	6,890	14,953	▲3.2%	15,448
	経常損益	599	1,260	850	2,481	1,139	3,621	+8.0%	3,352
	客室稼働率	80.4%	91.9%	81.3%	82.7%	84.5%	83.6%	+2.1p	81.5%
水戸大洗店	売上高	5,554	5,891	6,557	10,252	6,742	16,994	+4.4%	15,375
	経常損益	235	378	1,358	4,390	1,135	5,526	+10.5%	4,214
	客室稼働率	64.1%	67.4%	76.5%	82.3%	80.1%	81.2%	+9.1p	72.1%
北上店	売上高	4,704	4,248	5,746	7,309	4,987	12,296	▲2.5%	12,615
	経常損益	▲717	▲637	362	2,084	▲645	1,439	▲19.5%	1,787
	客室稼働率	61.4%	54.0%	74.4%	72.1%	67.2%	69.7%	▲1.1p	70.8%
仙台亘理店	売上高	5,298	4,167	5,651	7,959	5,481	13,440	+5.7%	12,712
	経常損益	▲156	▲1,098	165	2,382	▲422	1,959	+8.7%	1,802
	客室稼働率	65.9%	50.6%	68.9%	73.6%	69.1%	71.4%	+6.5p	64.9%
小淵沢店	売上高	6,476	6,158	6,222	9,972	6,586	16,558	+2.9%	16,098
	経常損益	667	598	726	4,145	740	4,885	+11.4%	4,384
	客室稼働率	77.4%	78.7%	76.4%	86.2%	83.1%	84.6%	+2.9p	81.7%
前橋南店	売上高(運営受託料)	2,990	3,009	2,550	3,695	3,601	7,296	+13.2%	6,445
	経常損益	▲422	▲310	▲381	816	308	1,124	-	▲985
	客室稼働率	61.8%	69.2%	58.8%	58.9%	72.4%	65.6%	+8.9p	56.7%
九十九里店	売上高	1,513	5,356	5,243	8,720	5,653	14,374	+850.0%	1,513
	経常損益	▲804	68	356	3,565	474	4,040	-	▲824
	客室稼働率	45.4%	76.6%	67.4%	73.6%	77.6%	75.6%	+30.2p	45.4%
東京新木場店	売上高	-	5,148	17,076	24,765	21,667	46,432	-	-
	経常損益	▲40	1,233	▲331	9,606	5,549	15,156	-	▲215
	客室稼働率	-	97.2%	75.2%	89.1%	88.3%	88.7%	-	-
全社合計	売上高	61,412	65,802	89,666	128,694	89,875	218,570	+37.4%	159,062
	経常損益	▲10,084	▲10,941	62	37,648	▲2,674	34,973	+123.6%	15,638
	客室稼働率	63.5%	63.2%	67.5%	76.1%	70.9%	73.5%	+5.6p	67.9%

(注1) 開業前の店舗の損益を含みます。

(3) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	
		第2四半期末 H17.12.31	第3四半期末 H18.3.31	第4四半期末 H18.6.30	第1四半期末 H18.9.30	第2四半期末 H18.12.31	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	61,023	28,105	53,120	75,390	61,536
		その他	27,343	33,176	14,221	13,604	12,376
		流動資産合計	88,366	61,282	67,341	88,995	73,912
	II 固定資産	有形固定資産	270,636	271,912	271,512	269,408	269,876
		無形固定資産	2,837	2,806	2,576	2,461	2,346
		投資その他の資産	34,922	34,852	67,252	69,647	71,733
	固定資産合計	308,396	309,572	341,341	341,517	343,956	
	資産合計	396,763	370,854	408,683	430,513	417,869	
(負債の部)	I 流動負債	68,604	66,453	55,343	52,832	41,230	
	II 固定負債	159,733	147,598	97,635	84,558	86,921	
		負債合計	228,337	214,051	152,978	137,390	128,151
(資本の部)	I 資本金	281,000	281,000	—	—	—	
	II 資本剰余金	19,200	19,200	—	—	—	
	III 利益剰余金						
	四半期(当期)未処理損失(▲)	▲131,774	▲143,397	—	—	—	
		資本合計	168,425	156,802	—	—	—
	負債・資本合計	396,763	370,854	—	—	—	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金			331,000	331,000	331,000
		資本剰余金			68,916	68,916	68,916
		利益剰余金			▲144,210	▲107,293	▲110,698
		株主資本合計			255,705	292,622	289,217
	II 新株予約権	新株引受権			500	500	500
	純資産合計			256,205	293,122	289,717	
	負債・純資産合計			408,683	430,513	417,869	
	発行済株式総数	5,620 株	5,620 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	29,969 円	27,900 円	40,945 円	46,857 円	46,312 円	

(4) 株主資本等変動計算書 (平成18年10月1日～12月31日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本				新株予約権 新株引受権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 繰越利益剰余金	株主資本合計		
平成18年6月30日残高	331,000	68,916	▲144,210	255,705	500	256,205
第1四半期中の変動額			+36,917	+36,917		
第1四半期中の変動額の合計			+36,917	+36,917		
平成18年9月30日残高	331,000	68,916	▲107,293	292,622	500	293,122
第2四半期中の変動額			▲3,405	▲3,405		
第2四半期中の変動額の合計			▲3,405	▲3,405		
平成18年12月31日残高	331,000	68,916	▲110,698	289,217	500	289,717

(5) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(6) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物：17～18年、構築物：15～20年、車両運搬具：4～6年、工具器具備品：3～8年
定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。均等償却によっています。

(2) 無形固定資産

(3) 長期前払費用

2. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

Ⅱ 第13期上半期（平成18年7月1日～12月31日）の業績の概況

(0) 本社

前年同期に比べ、売上の減少（▲19.2%）と費用の増加（+9.1%）により、経常損失が拡大（▲19,277→▲22,144千円）しています。

(1) 日光鬼怒川店

稼働率（57.7→56.5%）、売上高（▲2.6%）、経常利益（▲8.3%）ともに、前年同期を下回っています。

(2) 那須店

稼働率（72.3→67.5%）、売上高（▲5.7%）、経常利益（▲17.1%）ともに、前年同期を大きく下回っています。

(3) 秋田六郷店

稼働率（49.1→54.2%）、売上高（+6.5%）は増加しましたが、経常損失は微増（▲7→▲97千円）しました。

(4) 山中湖店

稼働率（79.8→78.6%）、売上高（▲1.3%）、経常利益（▲3.5%）ともに、前年同期を下回っています。

(5) 沼田店

稼働率（81.5→83.6%）は微増、売上高は微減（▲3.2%）となりましたが、経常利益は増加（+8.0%）しています。

(6) 水戸大洗店

稼働率（72.1→81.2%）、売上高（+4.4%）、経常利益（+10.5%）ともに、前年同期を大きく上回っています。

(7) 北上店

稼働率（70.8→69.7%）、売上高（▲2.5%）、経常利益（▲19.5%）ともに、前年同期を下回っています。

(8) 仙台亙理店

稼働率（64.9→71.4%）、売上高（+5.7%）、経常利益（+8.7%）ともに、前年同期を大きく上回っています。

(9) 小淵沢店

稼働率（81.7→84.6%）、売上高（+2.9%）、経常利益（+11.4%）ともに、前年同期を上回っています。

(10) 前橋南店

稼働率（56.7→65.6%）、売上高（+13.2%）ともに、前年同期を大きく上回り、わずかながら経常黒字となっています。

(11) 九十九里店

オープンから1年が経過しましたが、稼働率（75.6%）も順調に増え、経常黒字（+4,040千円）となっています。

(12) 東京新木場店

オープンから9ヶ月が過ぎ、稼働率もひじょうに好調（88.7%）で、大きな経常黒字（+15,156千円）を計上しています。

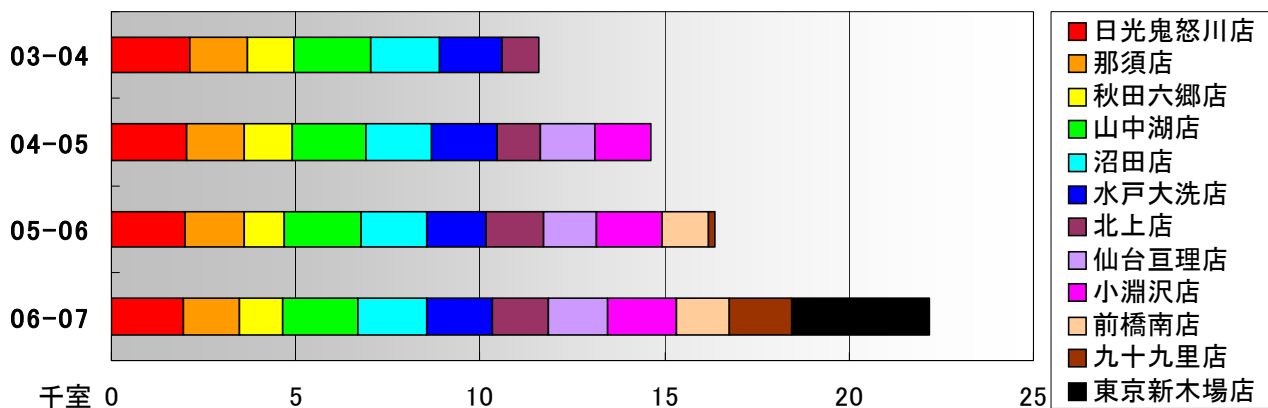
(13) 全社

店舗の合計では、稼働率（67.9→73.5%）、売上高（+40.0%）、経常利益（+62.6%）ともに、前年同期を大幅に上回りました。これには新規店舗である「九十九里店」（2005年12月オープン）「東京新木場店」（2006年3月オープン）の好調が大きく貢献していますが、この2店舗を除いても、稼働率（68.2→70.6%）、売上高（+1.0%）、経常利益（+5.5%）と、いずれも微増となっており、既存店も堅調に推移しております。

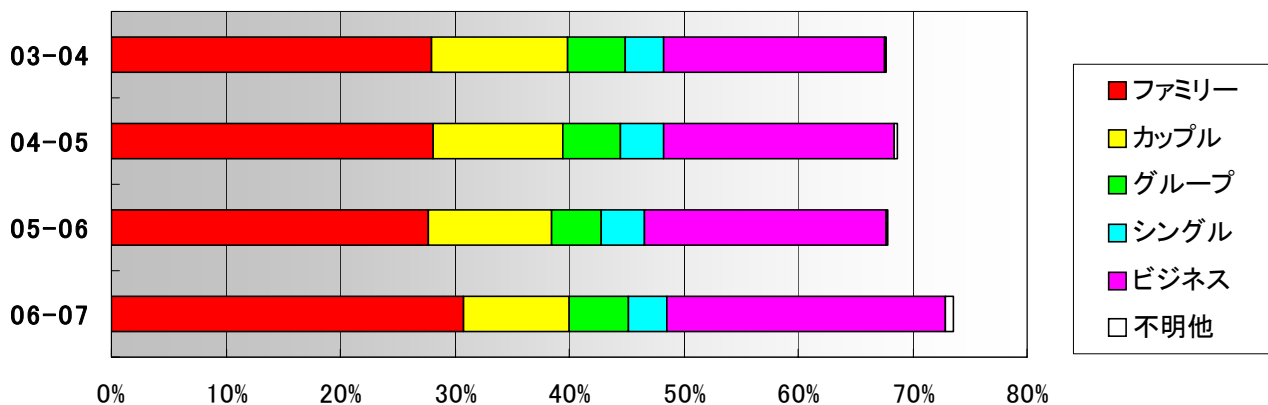
店舗別に見ると、前年同期に比べ「那須店」はマイナス、「水戸大洗店」「仙台亙理店」「前橋南店」がプラス、他はほぼ横ばいという状況です。

この結果、本社を含む全社合計では、売上高（+37.4%）、経常利益（+123.6%）、当期純利益（+138.2%）ともに、前年同期を大きく上回る結果となりました。

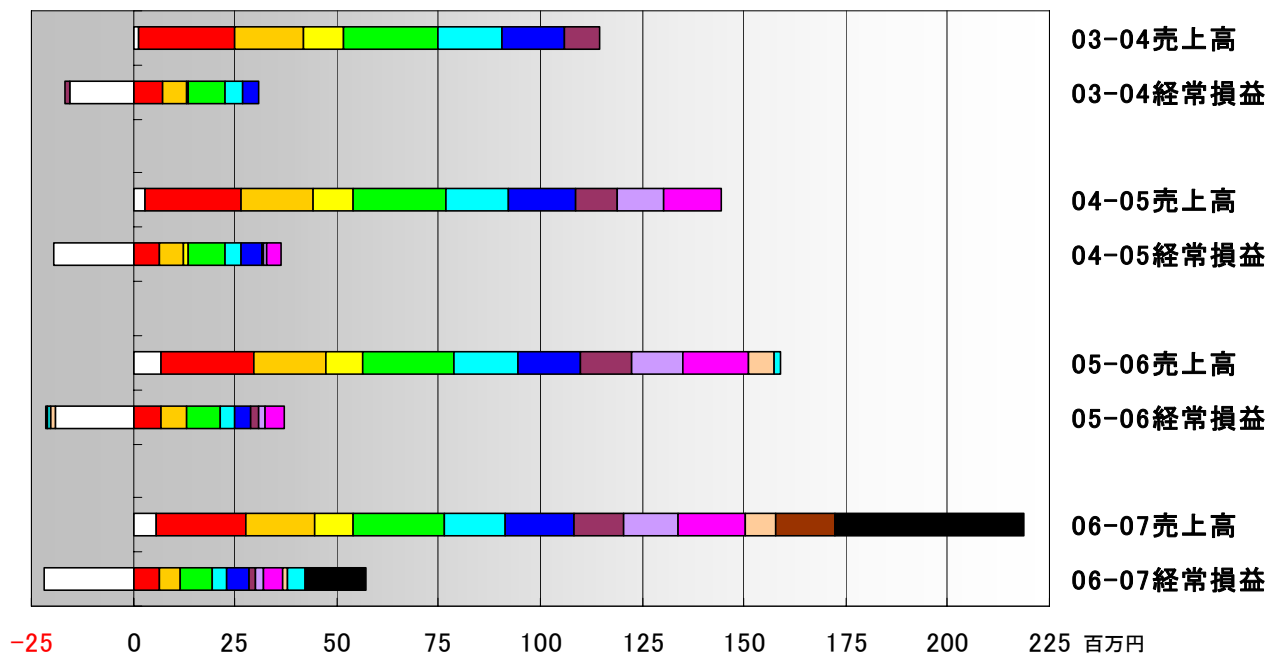
●利用客室数（全店合計、店舗別内訳）の推移（2006.7/1～12/31）



●客室稼働率（全店通算、構成内訳）の推移（2006.7/1～12/31）



●売上高・経常損益（全社合計、部門別内訳）の推移（2006.7/1～12/31）



Ⅲ 第13期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 通期実績 H17.7.1～ H18.6.30	第13期				
		第1四半期 実績 H18.7.1～9.30	第2四半期 実績 H18.10.1～12.31	第3四半期 予想 H19.1.1～3.31	第4四半期 予想 H19.4.1～6.30	通期予想 H18.7.1～ H19.6.30
売上高	314,531	128,694	89,875	80,000	86,431	385,000
経常損益	4,764	37,648	▲2,674	▲7,500	▲11,974	15,500
当期純損益	1,631	36,917	▲3,405	▲8,700	▲14,812	10,000

前期末における第2四半期予想値（売上高：83,000千円、経常損益：▲7,500千円、当期純損益：▲8,700千円）に対し、実績値はいずれもこれを上回りました。

今春オープン予定の3店舗に加え、夏休み前に複数の新規オープンを計画中のため、出店関連費用の増加が見込まれるため、通期の損益については変更していません。

Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第3四半期 H18.1.1～3.31	第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31
現金および預金の増減額	▲32,918	+25,014	+22,270	▲13,854
現金および預金の四半期首残高	61,023	28,105	53,120	75,390
現金および預金の四半期末残高	28,105	53,120	75,390	61,536

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第3四半期 H18.1.1～3.31	第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31
短期借入金の増減額	—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高	—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高	—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別 第12期 第3四半期 H18.1.1～3.31	第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31
長期借入金の増減額	▲13,386	▲62,717	▲11,385	▲10,964
長期借入金の四半期首残高	212,856	199,470	136,753	125,368
長期借入金の四半期末残高	199,470	136,753	125,368	114,404

借入金の減少は、約定返済によるものです。

V 今後の事業展開と出店計画について

「軽井沢店」「須賀川店」のオープン予定日が決定

現在建築工事中の「千葉勝浦店」「軽井沢店」「須賀川店」のオープン予定日決まり、すでに予約受付を開始しております。

「千葉勝浦店」・・・3月15日（木）オープン予定

「軽井沢店」・・・4月14日（土）オープン予定

「須賀川店」・・・4月25日（水）オープン予定

その他の出店計画

上記の3店に加え、夏休み前までに複数のオープンを目指し、各地で具体的な打ち合わせを行っております。出店が決まり次第、公表いたします。

社内体制の見直し

店舗数の増加と新規出店ペースの上昇に対応し、業務内容や職務分掌を整理再構成するとともに、店舗の管理体制を整備強化しているところです。

第4次アメリカ視察研修

2004年末にスタートさせたアメリカMOTEL視察旅行ですが、2005年6月・12月に続き、昨年12月に2店舗の支配人を派遣しました。

広告宣伝の計画

予定通り、以下の雑誌に1頁広告を掲載しました。

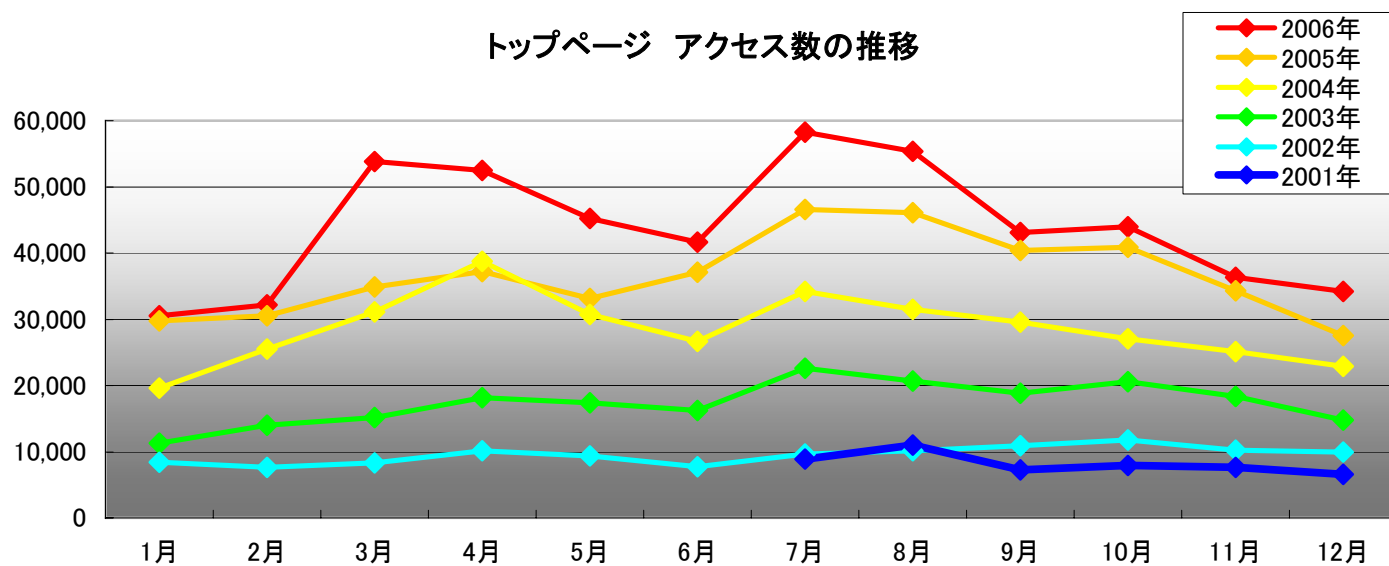
「冬びあ 首都圏版（抜き刷りは高速道路SAにて配布）」 2006年11月中旬 発売

「日経 Kids+ 1月号」 2006年11月下旬 発売

「まっぷるマガジン 安くて良い宿 公共の宿 関東周辺 2007」 2007年1月上旬 発売

「まっぷるマガジン 安くて良い宿 公共の宿 東北 2007」 2007年1月上旬 発売

なお、ホームページへのアクセス数の推移は以下のとおりです。



以上